



# 令和6年度熊本スーパーハイスクール（KSH）構想県指定校事業 鹿本商工高校「あったらいいな」をカタチにする！



～技と知を磨き、地域に貢献！～ 学校魅力化改革 last Edition

## 1 事業背景と目的

県指定事業の3年間の集大成として、地元自治体や関係団体等と連携・協働するとともに、キャリア教育の充実として、企業と連携した新しい取組をもとに本校の魅力を発信していく。山鹿・鹿本地域にある商業系と工業系の学科を有する高校として、専門的な知識・技術を発揮し、持続可能な地域社会づくりに貢献できる人材の育成を目的とする。

## 2 事業の三本柱

各科専門技術による地域貢献



## 3 事業紹介

### (1) 地域参画『第三回来民門前市』

11月3日(日)に地域の町おこし事業である「来民門前市」が開催された。地域への恩返しのため、総勢37人の生徒が参加し、各科の専門知識を学んだ生徒が、専門技術や成果物を通して、地域と交流を深め、地元商店街の活性化に貢献した。

商業科・情報管理科

電子機械科



企業コラボ開発製品  
『ジビエ餃子、メロンパン等』販売

ロボット実演・体験  
『ロボット競技準優勝ロボットの实演』

機械科



アトラクションブース

『キーホルダーガチャ(レーザー加工)』『ストラックアウト』『イライラ棒』

### (2) 地域参画『山鹿灯笼LED発光装置量産化』

令和4年に山鹿市から電子機械科が依頼を受け、「山鹿灯笼まつり」で使用する灯笼のLED製作の研究を始めた。本物のろうそくの炎のように見せる「ゆらきLED」を使用して、幻想的な光を実現した。

令和6年度は子ども灯笼120基を納入し、数年かけて合計1000機の納入を目指している。



山鹿灯笼まつりの様子(左上が発光装置)

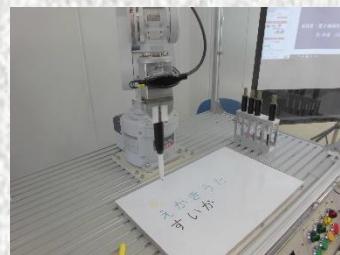
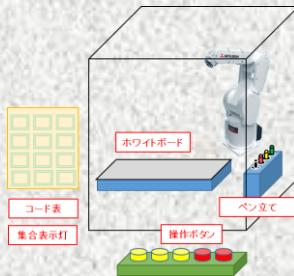
### (3) 地域連携【新】『ロボットシステムインテグレーション』

令和3年度末にデジタル化対応産業教育設備装置(DX)として導入された「産業用ロボット」。電子機械科では、実習の中で基礎・基本を習得させ、その応用として、産業界で必要なロボットシステムインテグレーション(自動化システムの構築)の知識や技術の育成に取り組んでいる。本校では、その応用技術を、キャリア教育の一環として位置づけ、地元企業(シナジーシステム株式会社)とテクニカルアドバイザー(愛知:ヒューマテックジャパン株式会社)と連携して、12月に愛知県で開催される第3回ロボットシステムインテグレーション競技会に参加する。

研究ロボット『達筆な代筆くん』  
～わたしが代わりに書いておきます～

#### ①課題設定の理由

人は文字で意思を伝える。その思いをロボットが代筆ができれば、エンターテインメントだけでなく、幼児や小学生の読み書きの向上にも繋がると思い、テーマを設定した。



#### ②今年度の研究内容

- ひらがな対応 ○ペンを持ち換えてのカラーバリエーション
- ボタン操作での実機操作 ○選択した五十音順のLED点灯

#### ③今後の目標

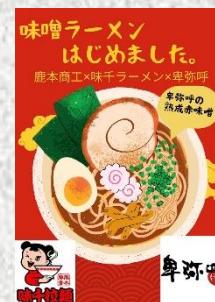
- 簡単なデザインやイラストを描く ○タッチパネルでの操作



「達筆くん」動画配信

### (4) 地域連携『商品・製品開発』

商業系学科(商業科・情報管理科)は、これまでの重光産業「味千ラーメン」とのコラボで生まれた『商麴ラーメン』の他、卑弥呼醬院の「熟成赤味噌」を使用した『特選みそラーメン』の新商品を開発した。その他、ジビエギョウザ(お猪鹿ぎょうざ)やパンなど、企業と連携して、精力的に商品開発に力を注いでいる。※2月にはジビエ肉を使用した小籠包も開発予定である。



### (2) 地域寄贈

『中学生ものづくり教室』

電子機械科では、中学生を対象にもものづくり教室を行った。産業用ロボットをテーマに、ロボットシステム製造現場を体験することで、産業用ロボットの魅力や理解・普及に努めた。



### (2) 地域寄贈

『鋤簾、リヤカー』

機械科では、平成29年7月に起きた北九州豪雨災害から被災地に送り続けている「鋤簾」。リヤカーは山鹿・鹿本の全ての小中学校11校に寄贈し、地域貢献を行っている。

